

2024

令和6年1月30日

第57号

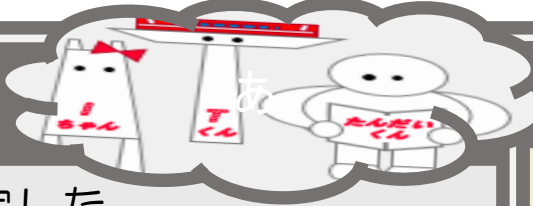
(通算103号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!



1 卒業研究に奮闘する学生②



第二学年の卒業研究がスタートして1ヶ月、設定した課題解決に向け奮闘しています。3人の学生に研究内容を伺いました。

●青山莞大さん（下館工高卒）情報システムコース

○研究テーマ：「※ ROSを用いた運搬ロボットシステムの開発」 ※ROS: Robot Operating System

○ポイント：オープンソースのフレームワークであるROSを用いて、対象の場所まで移動・運搬するシステムを開発しています。

○本学での学び：プログラム作成のための基本的な考え方を学び、課題が発生した際の対処法についても総合的に学ぶことができました。



↑ ロボット制御を説明する青山莞大さん

●稲毛 陸さん（水戸商高卒）セキュリティコース

○研究テーマ：「図書館システムのデジタル化」～貸し出しの円滑化に向けて～

○ポイント：図書の貸し出しを円滑化するため、ASP.NETとMySQLを活用したWebアプリケーションを開発しています。

○本学での学び：セキュリティリスクを低減するための構造や手順、更には、抽象的なイメージを具現化する思考法を学ぶことができました。



↑ プログラムを説明する稲毛 陸さん

●五味千怜さん（麻生高卒）生産管理コース

○研究テーマ：「製品検品支援システムの開発」～荷崩れ防止～

○ポイント：製品の梱包作業を支援するため、製品の画像データを機械学習させ、作業効率を上げるシステムを開発しています。

○本学での学び：基本情報処理技術者試験の合格や、様々な実践的なプログラミングを学び、課題解決能力も高まったと思います。



↑ 画像データを説明する五味千怜さん

3 記事トレ!



本校では、IT専門力に加え、社会人基礎力の向上のために、「記事トレ」を実施しています。新聞を読んで考える事で、読み解く力を育成します。

<記事> 読売新聞(2024年1月13日)

液状化 地盤3メートルずれ 【側方流動】 家屋被害が拡大

◇要約

●飯村寧音さん（水城高卒）

能登半島地震の被災地、石川県内灘町で「液状化」現象が確認され、地盤が横方向に最大3m前後ずれ動く大規模な「側方流動」が起きていたことが現地調査でわかった。被災者の生活再建に大きな影響を及ぼすだろう。

◇感想

●小野瀬あゆさん（那珂高卒）

小学生の頃に、ペットボトルで液状化現象の実験装置を作ったことがある。これが実際の街の中で起こったことを考えると非常に恐ろしく感じる。被災者の生活再建が出来る限り早く完了することを願うばかりだ。

●佐藤勝輝さん（日立商高卒）

新年早々、このような悲惨な災害が起こりとても悲しい。自然災害は起きることを防ぐことはできないので、避難キットを備えるなど日頃から意識したいと思った。東日本大震災が起きたときは子供だったが、これからは大人として多くの人々を助けられるようになりたい。

●飯村寧音さん（水城高卒）

今回のような災害に備えて防災グッズを準備したり、住んでいる地域をハザードマップで確認することが重要である。また、ICTを活用することで情報をすぐに共有し、状況把握をすることが大事だと考えた。

●鬼沢昇吾さん（水戸南高卒）

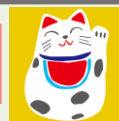
地盤工学の進歩は目覚ましい。また、IT技術者がそうしたデータを解析し予測するツールを開発するなど、その役割が大きくなっている。

地盤情報からリスク情報を取得したり解析することは、防災に有益と期待できる。



2 学生を支援する教師陣

新春インタビュー



本校の日熊啓介先生(ネットワークスペシャリスト等取得)は、情報の専門技術は勿論、就職などの進路指導も丁寧に実施されています。

この程、G検定(JDLA Deep Learning for GENERAL)資格を取得されました。ここでは、今年の抱負から資格の概要、更には、新年にあたっての学生へのメッセージをお聞きしました。

Q1 今年の抱負は何ですか？

A1 ユネスコ世界遺産にも登録されている熊野古道小辺路(約70キロメートル)を踏破することです。

Q2 今回、何故この資格を取得しようと思ったのですか？

A2 これはDeep Learningと呼ばれる「AI」に関する資格です。「AI」はこれから必須となるスキルです。世の中の変化に対応するために取得しました。

Q3 次の目標と、学生諸君へのアドバイスをお願いします。

A3 英語能力の向上を目指します。海外の大学と連携もしていくので、ある程度、英語ができるように頑張ります。

楽をしようとすればするほど苦しくなります。一生懸命努力をすれば充実した生活を送れます。充実した人生を送ってください。



日熊啓介先生



茨城県立産業技術短期大学校

URL <http://www.ibaraki-it.ac.jp/> E-mail: kyoumu@ibaraki-it.ac.jp

〒311-1131
茨城県水戸市下大野町6342
電話029-269-5500

